

令和元年度  
大館市通学路交通安全プログラム

合同点検箇所

令和元年8月21日

## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対応状況
桂城小	1	市道	四車線の道路。非常にスピードを出して通行する車が多い。夏場は街路樹の葉が茂り、信号が見えづらくなる。	信号を待つときは、できるだけ道路から離れる。渡る時も、しっかりと確認する。
	2	市道	ローソンの広い駐車場が交差点に面しているため、車の出入りが多い。その他、病院、薬局等もあり、児童の歩行と車の動きが交差するポイントが多い。	通行時は、前後の車の動きをしっかりと見て、車の動きを確認した場合は、一回立ち止まるようにする。
対策内容		見通しがよく、構造上の問題なし。学校の指導で対応。		



**【合同点検を受けて】**

- ①樹木の枝によって、信号が見えにくくなっている箇所は、優先的に剪定。(土木課)
- ②消えかかっている停止線は、次年度以降引き直す。(警察)
- ③市立総合病院北側駐車場の交差点(青まる)を歩車分離にできないかを検討。(警察)
- ④不審者や信号無視については、登下校時のパトロールで対応。(警察・学校)
- ⑤校庭西側の大木は、校長会やPTAの要望としてあげていく。(学校)

## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
有浦小学校	1	市道	毎日のように児童が遊んでいる公園の周辺。公園の塀などで見通しが悪い。放課後は公園から道路への飛び出しも見られる。	全体指導の実施。周辺道路での通行の仕方や、公園でのマナーも併せて指導。
	対策内容		家庭・学校が飛び出しの無いように指導していく。	
有浦小学校	2	県道	通学時間と通勤時間が重なり、道路が混み合う。登校時間帯の交通量が特に多い。	通学時間と通勤時間が重なり、道路が混み合う。登校時間帯の交通量が特に多い。
	対策内容		家庭・学校が飛び出しの無いように指導していく。	



**【合同点検を受けて】**

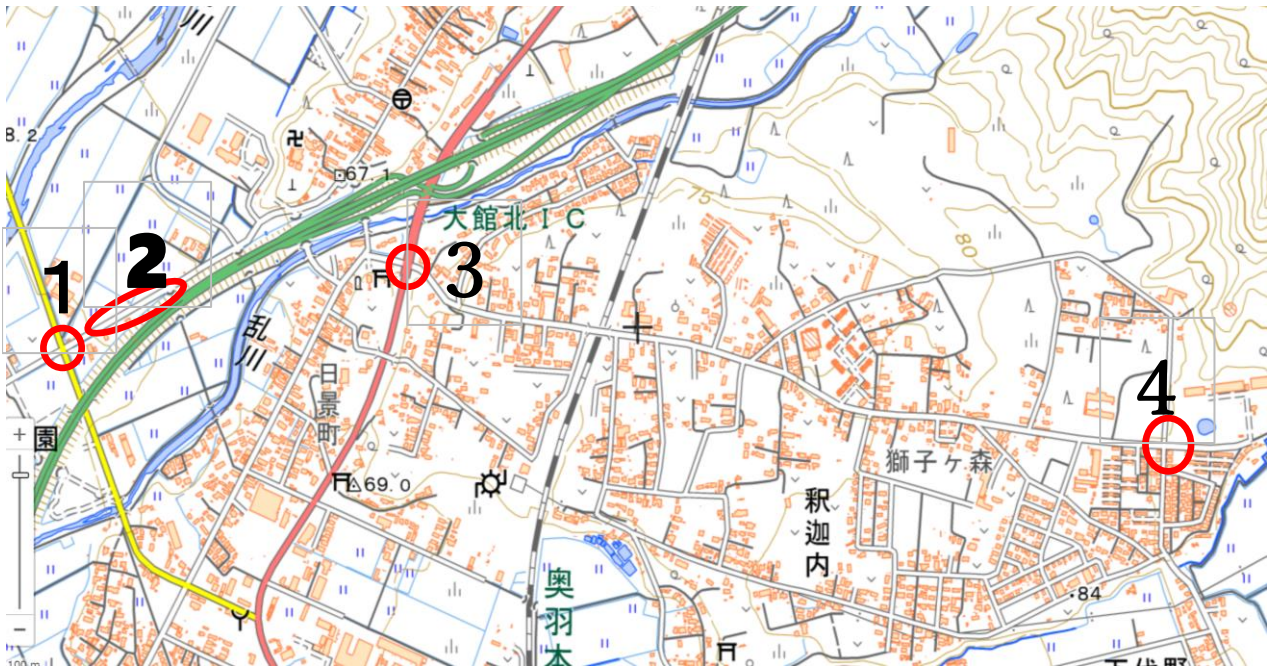
- ①押しボタン式の歩車分離交差点にできるかを検討中。(警察)
- ②警察によるパトロールの継続と学校における登下校指導。
- ③街灯の設置。(市民課)
- ④薬王堂側から右折する車に対し、右折レーンと停止線の設置等の検討。(県)

## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
釈迦内小学校	1	市道	片側・路側帯の白線は引かれているが、反対側はないので、歩行の際に注意を要する。また、工業団地ができたことで、大型車が多く通り、横断する際に危険である。	片側白線の端を歩き、車には十分に注意して歩行するように指導している。
	対策内容		歩道を設置している側、外側線のある側を通行するように指導していく。	
釈迦内小学校	2	その他	高館の交差点に横断歩道が片側1カ所しかないのもう1カ所横断歩道があれば安全である。(松峰方面)	松峰方面に向かう際は、左右を十分に確認するよう指導している。
	対策内容		歩道を設置している側、外側線のある側を通行するように。	
釈迦内小学校	3	市道	歩道の白線は引かれているが、交通量が多い上にカーブで見通しが悪いので、歩行の際に注意を要する。	白線の端を歩き、車には十分に注意して歩行するように指導している。
	対策内容		学校の指導で対応していく。	
釈迦内小学校	4	市道	交通量の多い方に止まれの標識があり、交通量の少ない方に止まれの標識がないため、車の衝突が心配であり、それによって歩行も危険である。	通行する際には、左右を十分に確認するよう指導している。
	対策内容		学校の指導で対応していく。	
釈迦内小学校			前回の調査では、学校周辺の路側帯の白線が消えかかっていたが、巡回し改善されているようである。しかし、歩道が狭いところが多いので注意を要する。	歩道が狭いところは、道路の端を歩くように指導している。
	対策内容		学校の指導で対応していく。	



## 調査票



No.1 桜下付近(成章中:日景教頭先生宅側に白線がある) No.1 桜下付近(反対側に白線がない)



No.2 反対側の松峰方面に横断歩道がない



No.2 片側(松木方面)には横断歩道がある



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
長木小学校	1	不明	ドームやアリーナの方から北(芦田子方面)へ向かう道路と天下町から長木小学校へ向かう道路が交わる十字路。ドームやアリーナの方から北(芦田子方面)へ向かう道路は交通量が多いのに一時停止。そのため標識を見落としたり、一時不停止だったりすることがあり危険である。	PTA生活部の登校指導 町内見守り隊の下校見守り
	対策内容		集団での登下校をして、登下校時間帯に地域住民による見回りを依頼することで確認した。	
長木小学校	2	不明	交通量があり、イベント時には多くの人でにぎわうが、それ以外の時は人目が届かない。不審者と遭遇したときに危険。十年ほど前に不審者が出没したことがある。	タクミアリーナやニプロハチ公ドームへの見守り依頼 児童への安全指導
	対策内容		集団での登下校をして、登下校時間帯に地域住民による見回りを依頼することで確認した。	



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
川口小学校	1	市道	Yの字に道路が交錯し、見通しが非常に悪い急カーブになっている。	道路の端によって、車の通行状況を注視しながら歩行するよう、機会を捉えて繰り返し指導している。
	対策内容		路側帯を示す白ラインやドットラインの設置等対応済。 あとは学校の指導にて対応。	



## 調 査 票

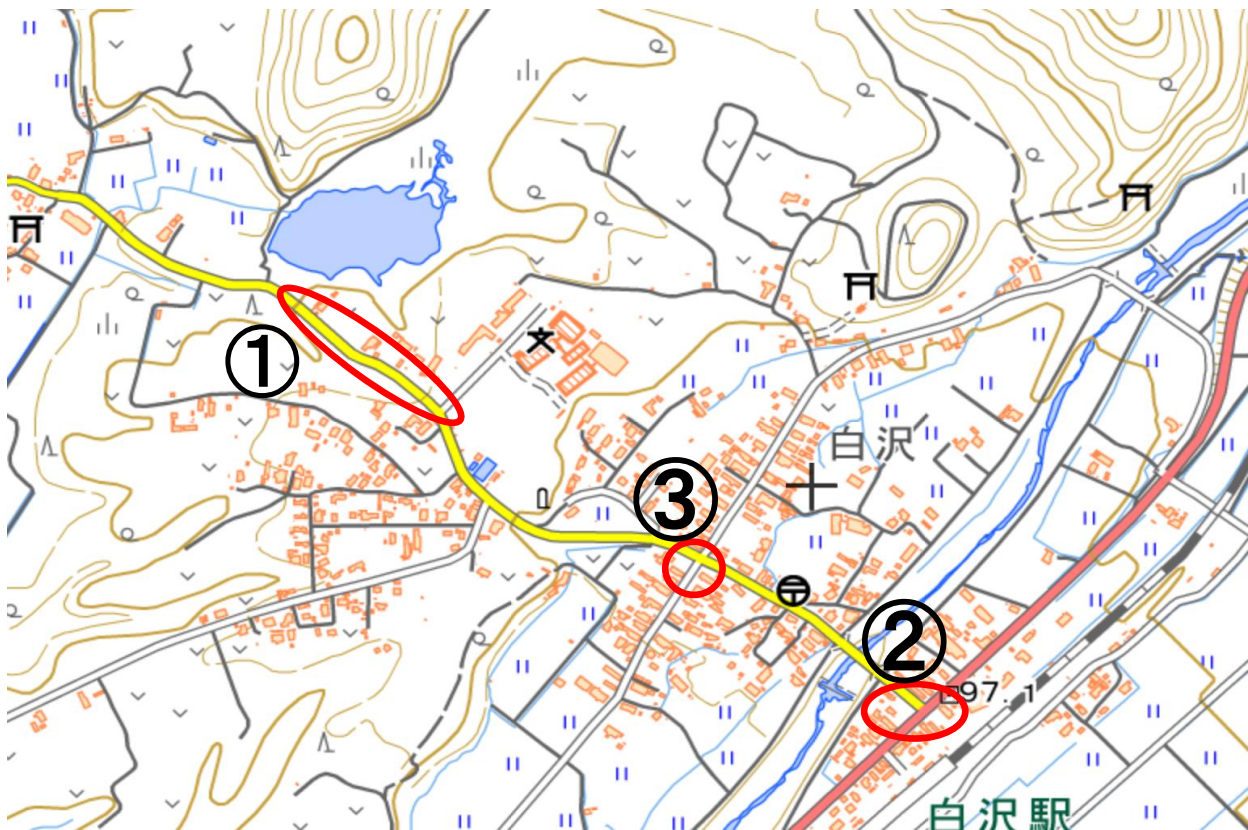
学校名	危険箇所 No	道路 種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
花岡小			危険箇所はありません	

必要に応じて欄を増やして作成してください。



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対応状況
大館市立 矢立小学校	1	県道	矢立小学校前交差点～中羽立公民館 昨年度、道路の拡幅工事はしたものの、県道68号線はカーブが多いので見通しが悪く、交通量も多い。民家はあるが、樹木が生い茂っているところがある。	教職員・PTA・交通安全協会の方々の登校指導。
	対策内容		拡張工事終了し、学校の指導で対応していく。	
大館市立 矢立小学校	2	国道	国道7号線と県道68号線のT字路 信号機はあるが、交通量が多く、スピードの出ている自動車も多い。	児童への注意喚起。
	対策内容		横断歩道の設置等対策を講じている。 今後も学校の指導で対応していく。	
大館市立 矢立小学校	3	県道	県道68号線と市道の交差点(白沢郵便局近く) 私道側に止まれの標識はあるが、交通量が多い。	教職員・PTA・交通安全協会の方々の登校指導。
	対策内容		横断歩道の設置等対策を講じている。 今後も学校の指導で対応していく。	



大館市通学路交通安全プログラム  
大館市登下校防犯プログラム  
別紙1 通学路危険箇所調査

## 調査票

### ①矢立小学校前～中羽立公民館



【学校側】



【中間】



【公民館側】

### ②国道7号と県道68号のT字路



### ③県道68号と市道の交差点



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
西館小学校	1	県道	学校前通学路と国道285号線がつながっているためスピードを出す車が多く、登下校の徒歩の児童が要注意	小路から出る場合は必ず止まって、確実に左右確認をしてから出る。歩道のある方を歩く。
対策内容		児童の飛び出しによる事故のため、学校の指導で対応していく。		



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
早口小	1	市道	出口踏切。幅が狭い。途中歩道用の部分もあるが、出入り口付近は車道と同じになっており、2台が同時に通るとき危険。雪が積もると端が分かりにくい。	車の動きに注意しながら1列で歩くように指導している。
	対策内容		学校の指導で対応していく。	
早口小	2	市道	歩道の幅は十分に確保されているが、白線が薄くなっている。	車の交差時には、止まって待つ。ある程度の余裕をもって道路の端の方を歩くように指導している。
	対策内容		外側線側を通行するよう学校の指導で対応していく。	
早口小	3	市道	早口小学校入り口バス停付近。スペースはあるが、T字路にあり、左折車への巻き込まれや接触の危険がある。降雪時は待つスペースが無くなる。	車が通り過ぎてから歩行を始める。バスを待つときには、端で待つように指導している。
	対策内容		学校の指導で対応していく。	

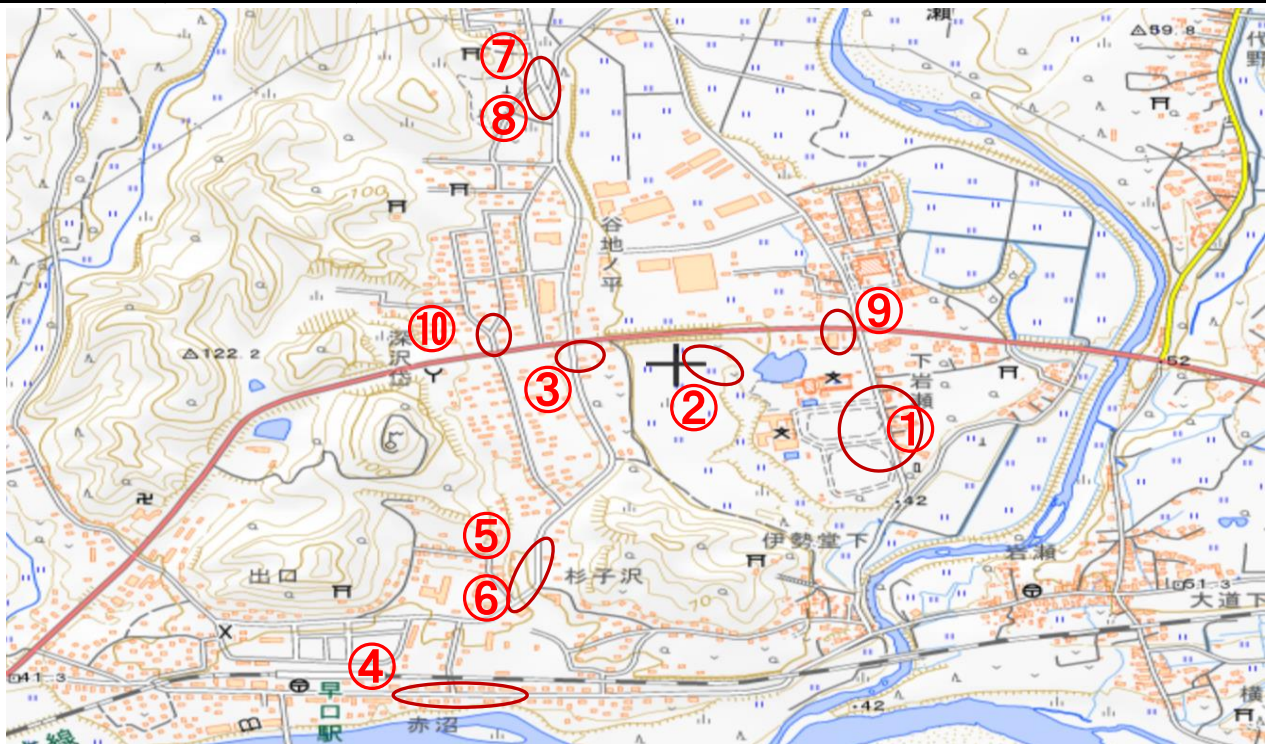


## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険箇所改善に向けた着眼点 (考えられる対策案)
山瀬小学校	1	市道	・伊勢堂下の田んぼ道 ・木が生い茂っていて人目に付きにくい。小川も危険(以前転落あり)。街灯少ない。	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール
	対策内容		昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	2	その他	・給食センター裏の田んぼ道 ・住宅がなく、人通りが少ない。	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール
	対策内容		昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	3	不明	・(株)サントップ近くの道路 ・廃車があり、人通りが少ない。マムシが出る。	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール
	対策内容		昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	4	市道	・カサミ電機から早口住宅までの道路(早口小学区だが、学区外通学児童が5名いる) ・住宅や人通りが少ない。廃工場がある。	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール
	対策内容		昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	5	市道	・谷地の平南 人通りが少なく、廃車・廃工場がある。	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール
	対策内容		昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	6	市道	・谷地の平南 人通りが少なく、高い壁や林があって人目につきにくい。	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール
	対策内容		昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	7	市道	・谷地の平西から中島団地までの道路 ・田代墓地公園…頂上に行くとも人目に付きにくい。駐車場に様々な車が止まっている	・集会や終業式, 生徒指導だよりでの注意喚起 ・登下校時のパトロール

## 調査票

	対策内容	昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	8	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中島団地のはじ</li> <li>・山ぎわで奥まった場所で、人目につきにくい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や終業式、生徒指導だよりでの注意喚起</li> <li>・登下校時のパトロール</li> </ul>
	対策内容	昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	9	国道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩瀬地下道</li> <li>・地下道内に入ると人目につきにくい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や終業式、生徒指導だよりでの注意喚起</li> <li>・防犯カメラ</li> <li>・街頭指導</li> </ul>
	対策内容	昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	
山瀬小学校	10	国道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田代地下道</li> <li>・地下道内に入ると人目につきにくい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や終業式、生徒指導だよりでの注意喚起</li> <li>・防犯カメラ</li> <li>・街頭指導</li> </ul>
	対策内容	昨年度、すべて確認済。 集団での登下校や学校地域住民の見回りなどで対応していくことを確認。	



大館市通学路交通安全プログラム  
大館市登下校防犯プログラム  
別紙1 通学路危険箇所調査

## 調査票



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
北陽中学校	1	市道	【釈迦内地区：北陽中校門前】花岡地区からの車が見えにくく、スピードを出す車が多い。7号線から北陽中学校の校門前を通って矢立地区に向かうT字路まで、横断歩道が一箇所もなく、登下校の際に危険な状況である。	横断する際の安全確認を徹底する。
	対策内容		ドットラインで対応済。横断歩道については要検討。	
北陽中学校	2	市道	【釈迦内地区：北陽中校門付近の道路】花岡地区からの車が見えにくく、スピードを出す車が多い。	横断する際の安全確認を徹底する。
	対策内容		ドットラインで対応済。横断歩道については要検討。	
北陽中学校	3	市道	【釈迦内地区：花岡地区からの自転車通学路、変則交差点】自転車通学の際、歩道が途中からなくなっており、車の通行量も多いので、横断する際危険である。	ここを通して通学している26人の生徒に対して、横断する際に安全確認を徹底することを指導した。
	対策内容		前回確認済。学校の指導で対応。	
北陽中学校	4	市道	【花岡中学校の下】自転車通学の際、雑草がのび、走行上危険である。	草に十分気を付けて登校することを徹底する。
	対策内容		草刈りは必要に応じて実施。熊対策は、学校や関係機関の連携で対応。	
北陽中学校	5	市道	【7号線沿いの通学路】自転車通学の際、雑草が歩道をおおい危険である。また、熊出現の際気付くのが遅れる可能性もあり危険である。	草や熊に十分気を付けて登校することを徹底する。
	対策内容		草刈りは必要に応じて実施。熊対策は、学校や関係機関の連携で対応。	

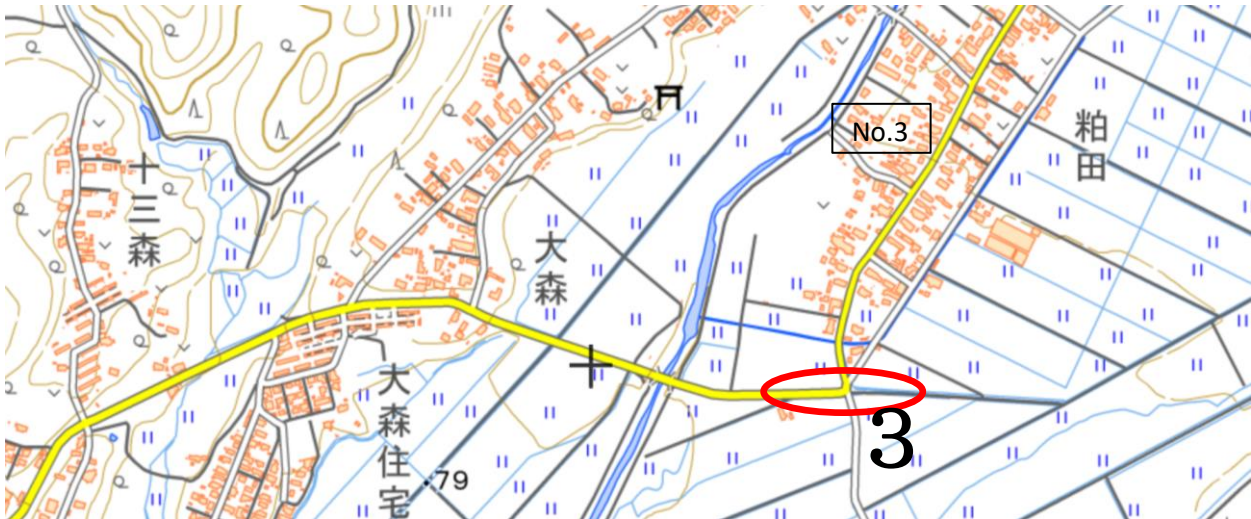




## 調査票

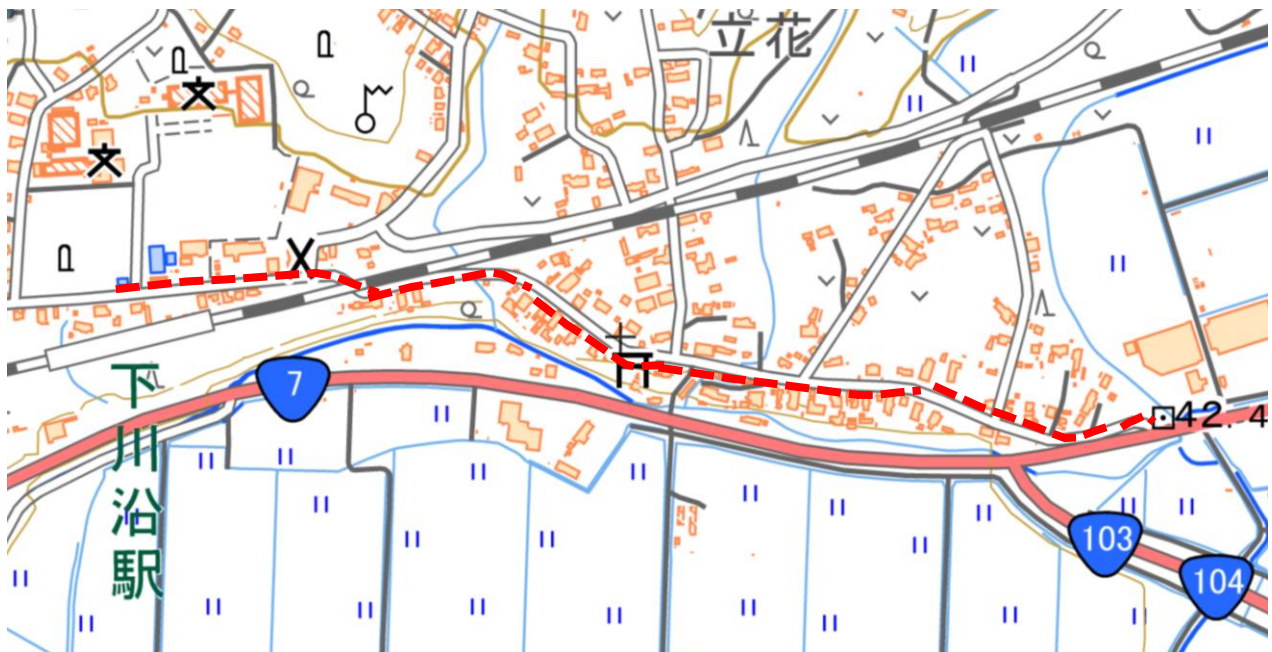
**【合同点検を受けて】**

- ①横断歩道設置の方向で。ただし、西側から来た車にとってカーブとなり見通しが悪くなるので、設置箇所は検討。(警察) 歩道の切り下げは設置箇所が決まってから。(土木課)
- ②スピード規制がされていない区間である。スピード規制も必要かも。(警察)



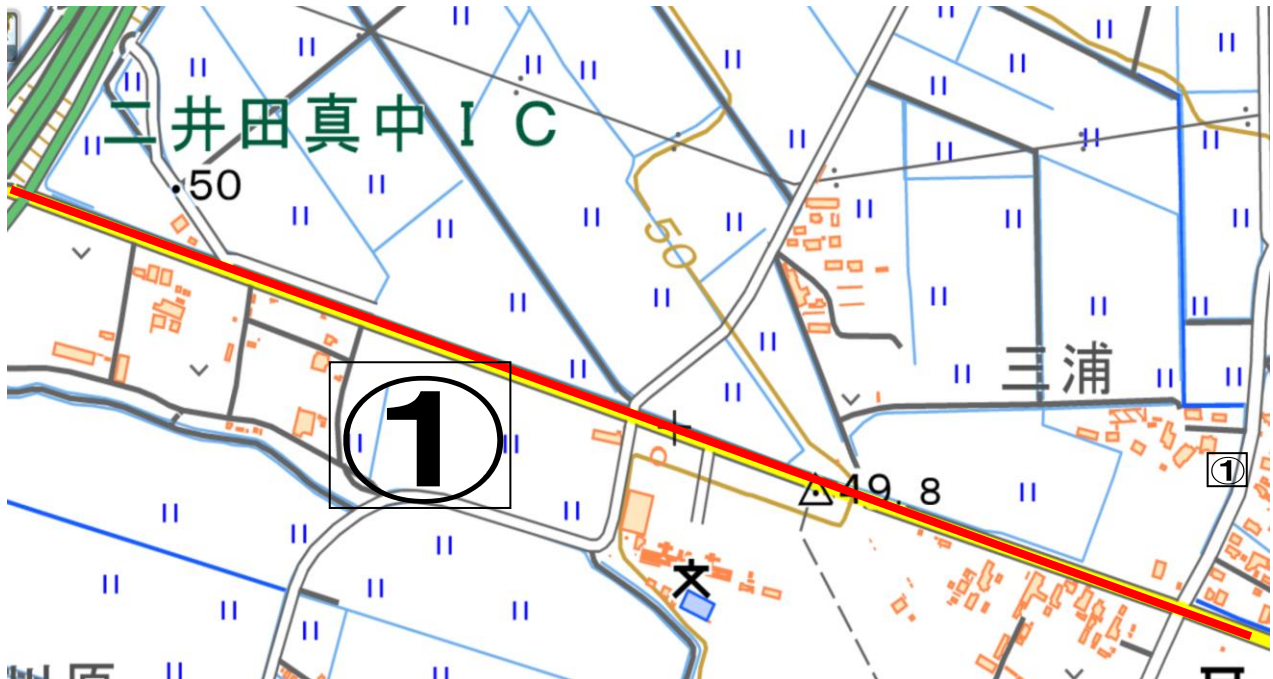
## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
下川沿中学校	1	市道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道幅が狭い上に、側溝の蓋がないため、自転車通学の生徒が側溝に落ちる危険性がある。</li> <li>・平成29年度冬季に2年生男子が、側溝が雪で覆われている場所に足がはまって負傷するケースがあった。</li> <li>・平成30年度に1年生男子生徒が、側溝に落ちて負傷するケースがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室等を通して、自転車で通行する際は、車両等周囲に十分注意するよう生徒に指導している。</li> <li>・地域学校安全委員会で、通学路の状況や危険について共通理解のもと、看板を設置し、安全への意識付けをしている。</li> </ul>
	対策内容		<p>【合同点検を受けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①今すぐの対応はできないが、年次計画に盛り込み側溝を改修する。</li> <li>②ゾーン30は設定できない状況にあるため、学校や地域住民、駐在等の指導で対応する。</li> <li>③空き家の樹木については、地区から危機管理課に相談し対応してもらう。</li> </ul>	



## 調査票

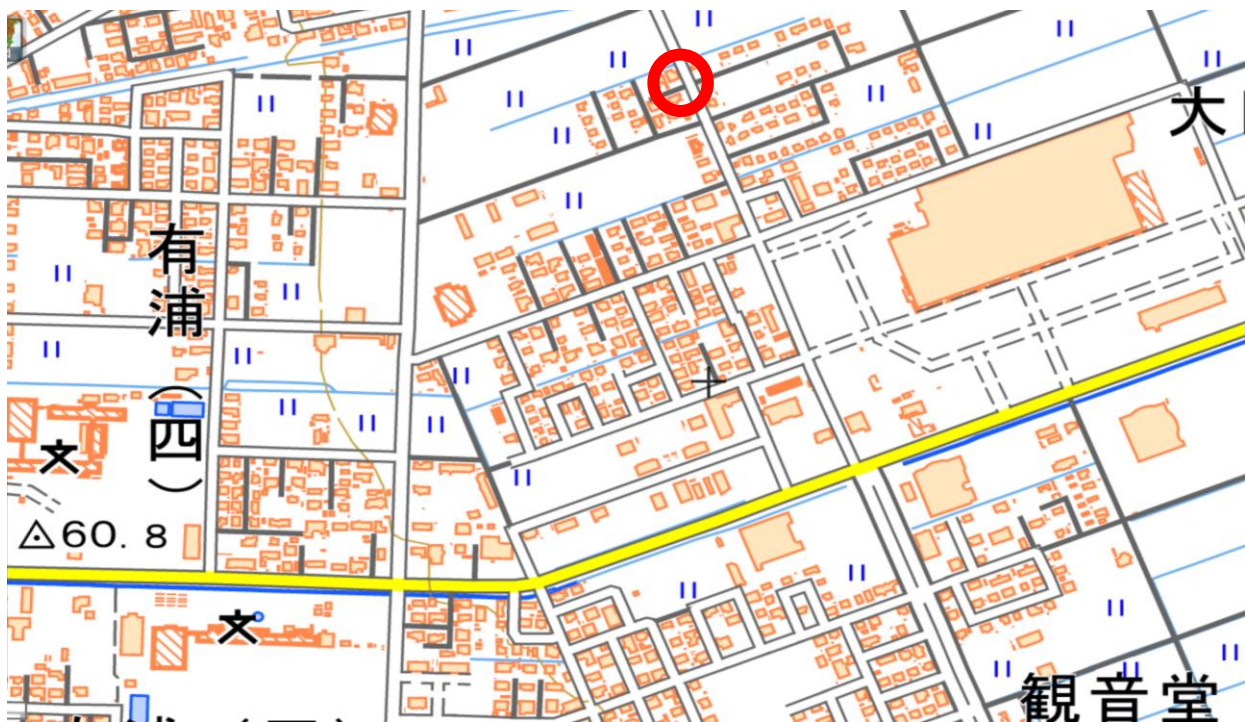
学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
南中	1	県道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が多い道路であり、それに加えてスピードを出して走る車がこれまでよりも多くなったと感じる。中には、かなりのスピードで走り去る乗用車も見られ、危険を感じる。(スクールゾーン・通学路であることを明示してほしい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所として啓発</li> <li>・職員・保護者による交通指導(交通安全運動期間中)</li> </ul>
			<b>対策内容</b> 通学路を示す看板の設置する。 ①学校が看板の準備をする ②県道なので県にスクールゾーン・通学路であることを明示するよう申請。	



①スピードを出している車が非常に多い。

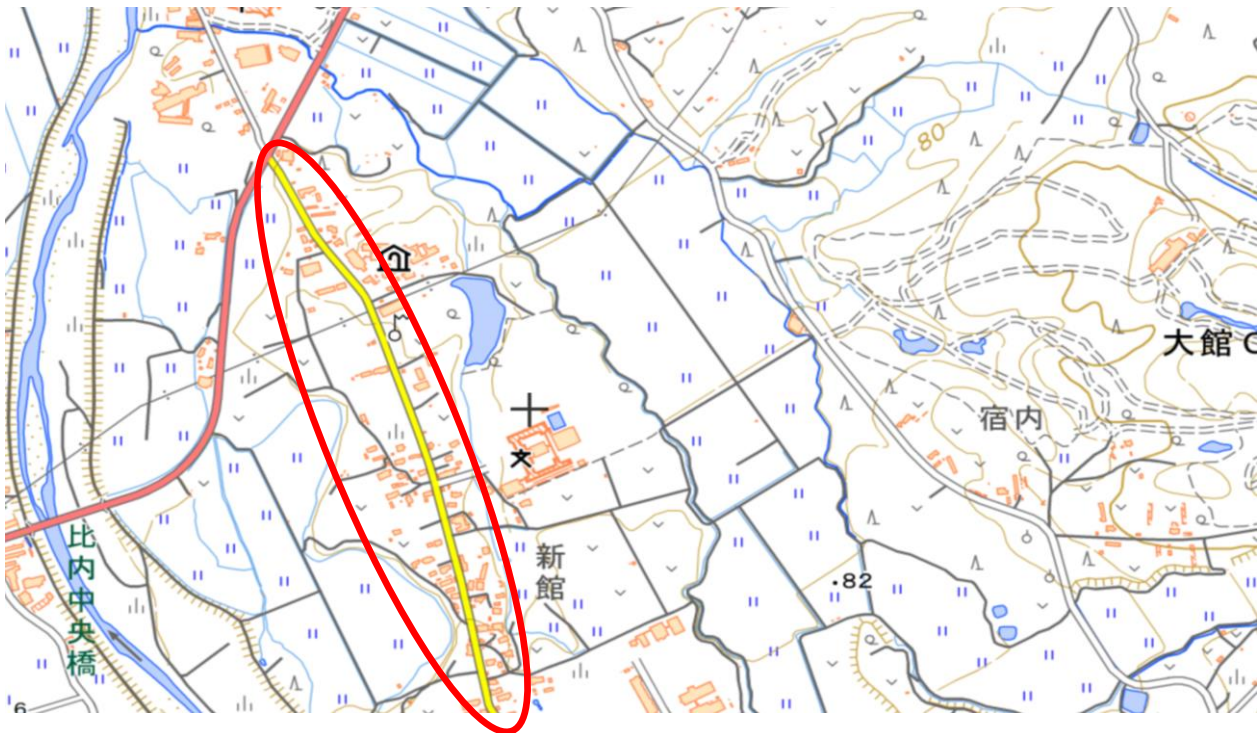
## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
東中学校	1	市道	歩道と車道の区別がない。 「止まれ」の標識がない。 朝夕の交通量が多い。 交通事故がたびたび起きている。	車に対しての危険意識向上を図る具体的な説話。
		対策内容	見通しがよく、構造上の問題なし。学校の指導で対応。	



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
比内中	1	県道	・県道22号、道路の傷みが激しく、雨の日は通行する車の水はねにより生徒がびしょ濡れになる。	お便り等で保護者には伝えているが、一般の人への周知は不可能。
	対策内容		①県が要望箇所として登録(今すぐ対応ではない) ②側溝の入れ替え時に、同時にやれるかも。	



## 調査票

学校名	危険箇所 No	道路種別	通学路の状況・危険の内容	危険に対する学校の対処状況
田代中学校	1	国道	お食事処「杉や」前の交差点にある横断歩道や停止線が消えてしまっているため、至急引いてもらいたい。通学路にしている生徒が多く、国道7号線から谷地の平南町への右左折車両も多い。	徒歩も、自転車の場合も一時停止・徐行をするように指導している。また、毎月2回登校指導でPTAと職員が現場でも指導している。
	対策内容		警察が対応していく。	

